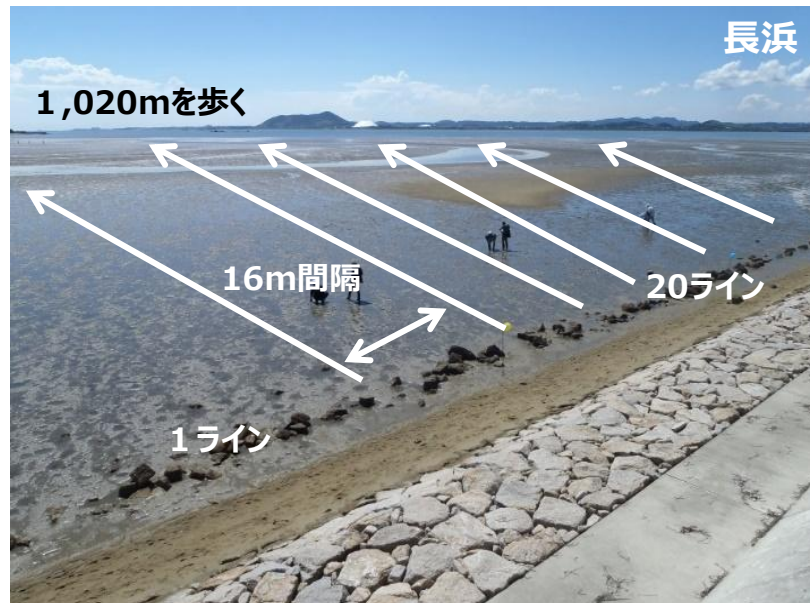

**カブトガニWG カブトガニ幼生生息調査の見直しについて
(夏季高温を踏まえた調査内容の変更方針案)**

カブトガニ幼生生息調査

- ・調査者は、GPSに従って歩きながら、カブトガニ幼生を確認し、①個体数、②前体幅、③発見地点（GPSのWP）を記録（ベルトトランセクト法）
- ・8月～9月実施

長浜調査

- ・16m間隔で20ライン、1ラインの調査幅は2m。（横320m×縦1,020mの範囲）
- ・住民参加型調査、休日に実施



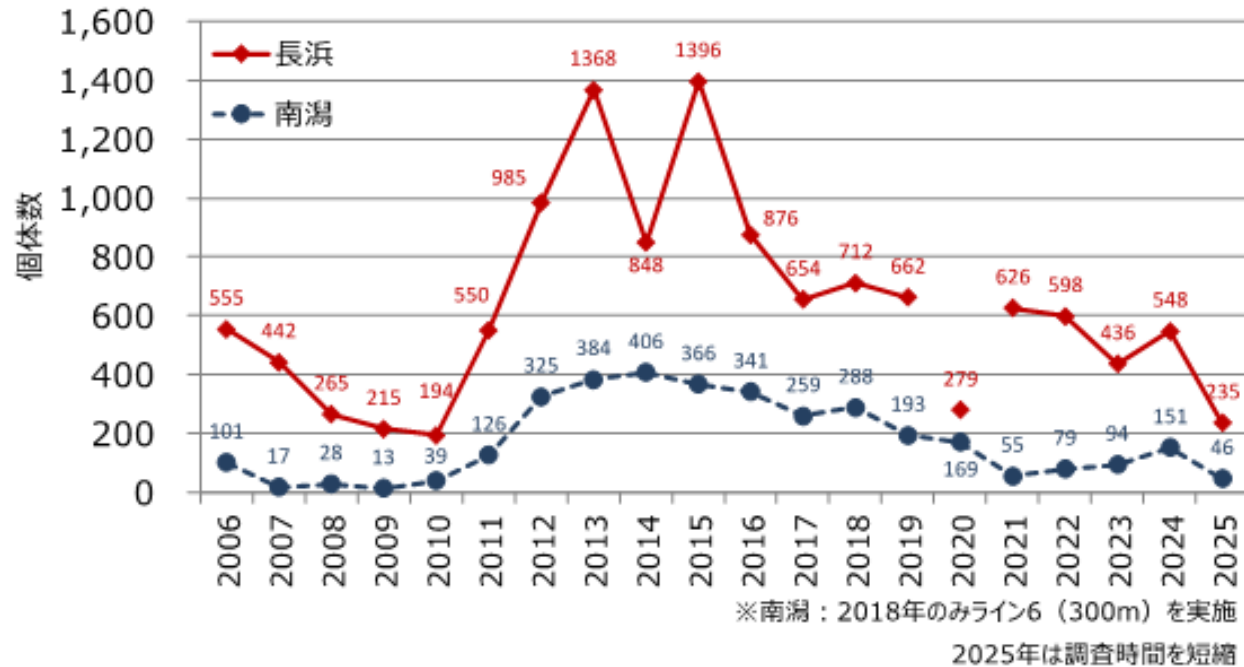
南潟調査

- ・60m間隔で5ライン、1ラインの調査幅は2m。（横300m×縦1,020mの範囲）
- ・WG+ファンクラブ、平日に実施

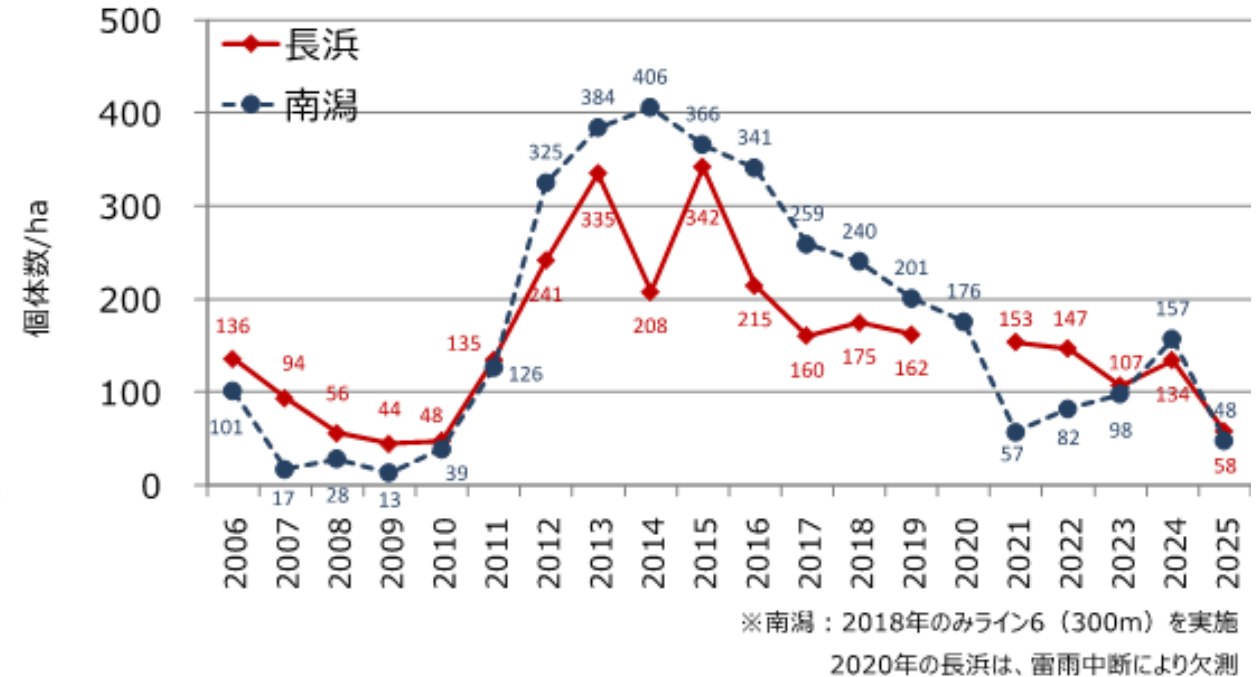


カブトガニ幼生生息調査の結果（2006年～2025年で20回）

長浜・南潟のカブトガニ調査結果 <発見個体数>



長浜・南潟のカブトガニ調査結果 <推定個体密度>

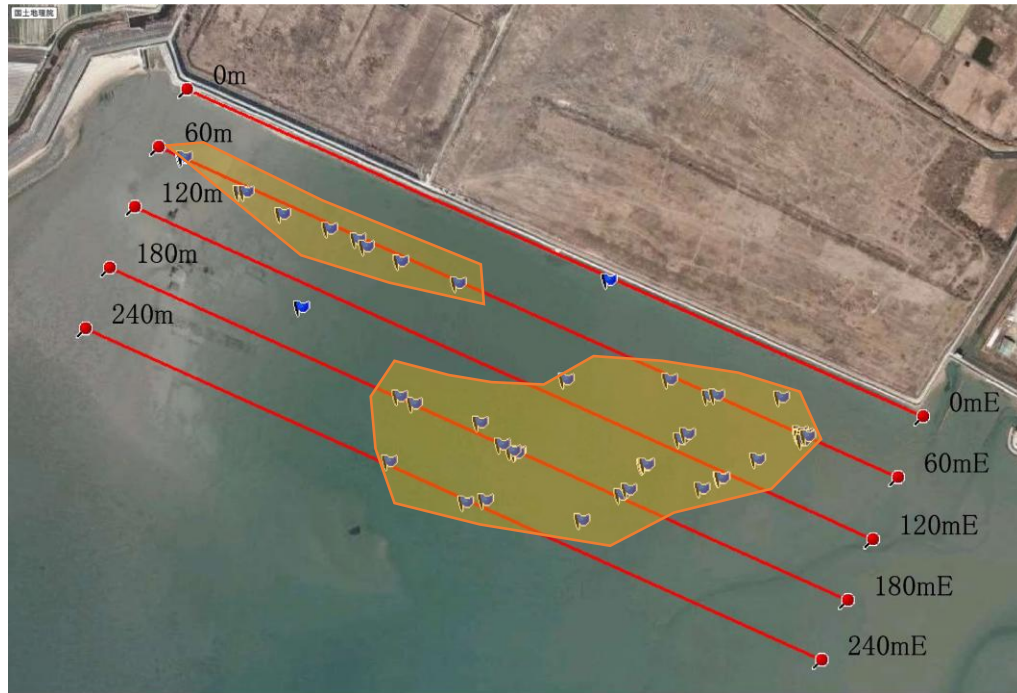


活動	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
カブトガニ幼生生息調査・観察会 参加者数（人）	120	113	33	33	109	72	64

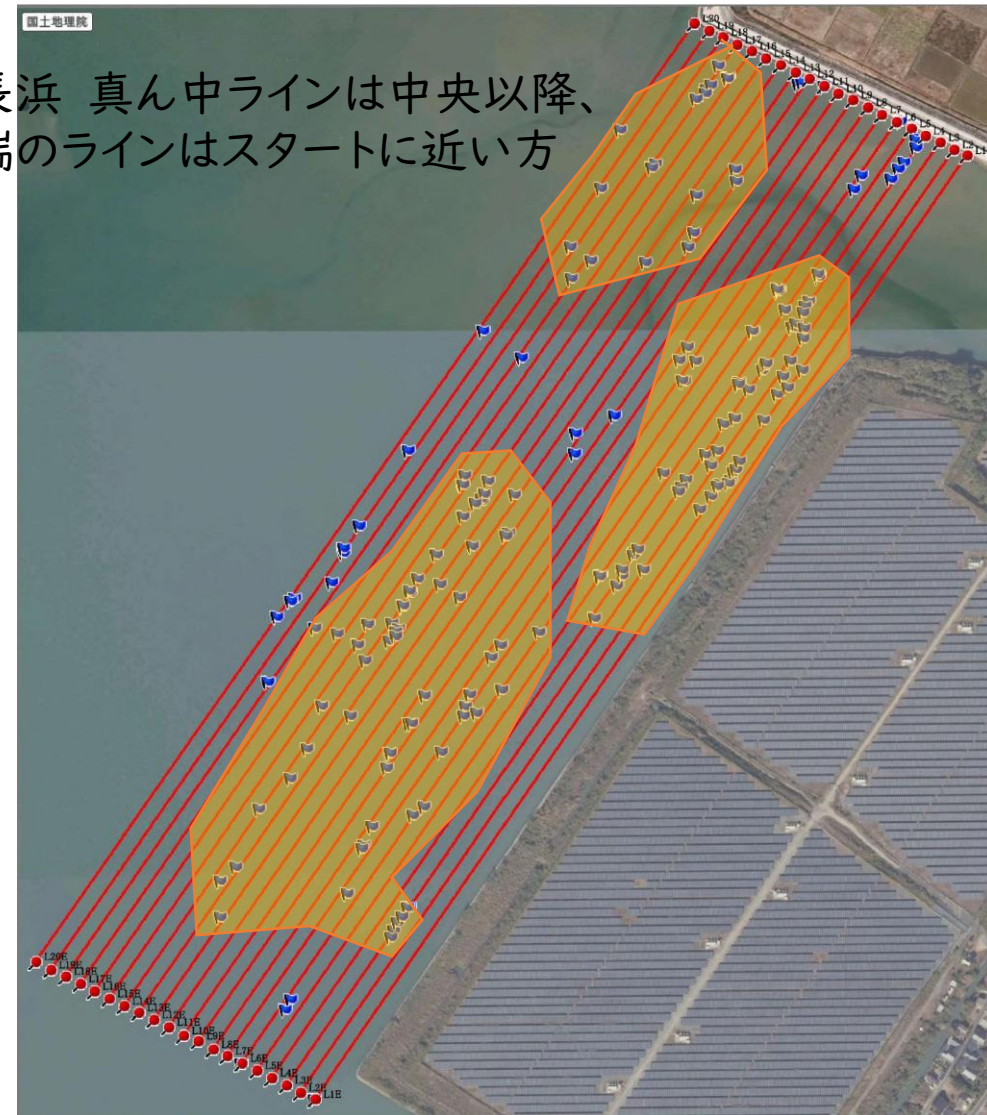
【2025年度結果】・発見個体数は長浜が232匹、南潟が46匹であった。・推定個体密度は長浜が58匹/ha、南潟が48匹/haであり、おおよそ同じ値を示した。・長浜、南潟ともに調査時間を短縮したため、昨年度にくらべ、個体数が減少しているが、近年（2017年～）ではおおよそ横這いと言える。※例年、長浜と南潟の調査時間を2時間としていたところ、2025年度は、熱中症防止の観点から1時間で行った。

カブトガニ幼生生息調査の結果（2025年 GPSでの位置図）

南潟 東側（ゴール側）にややかたより

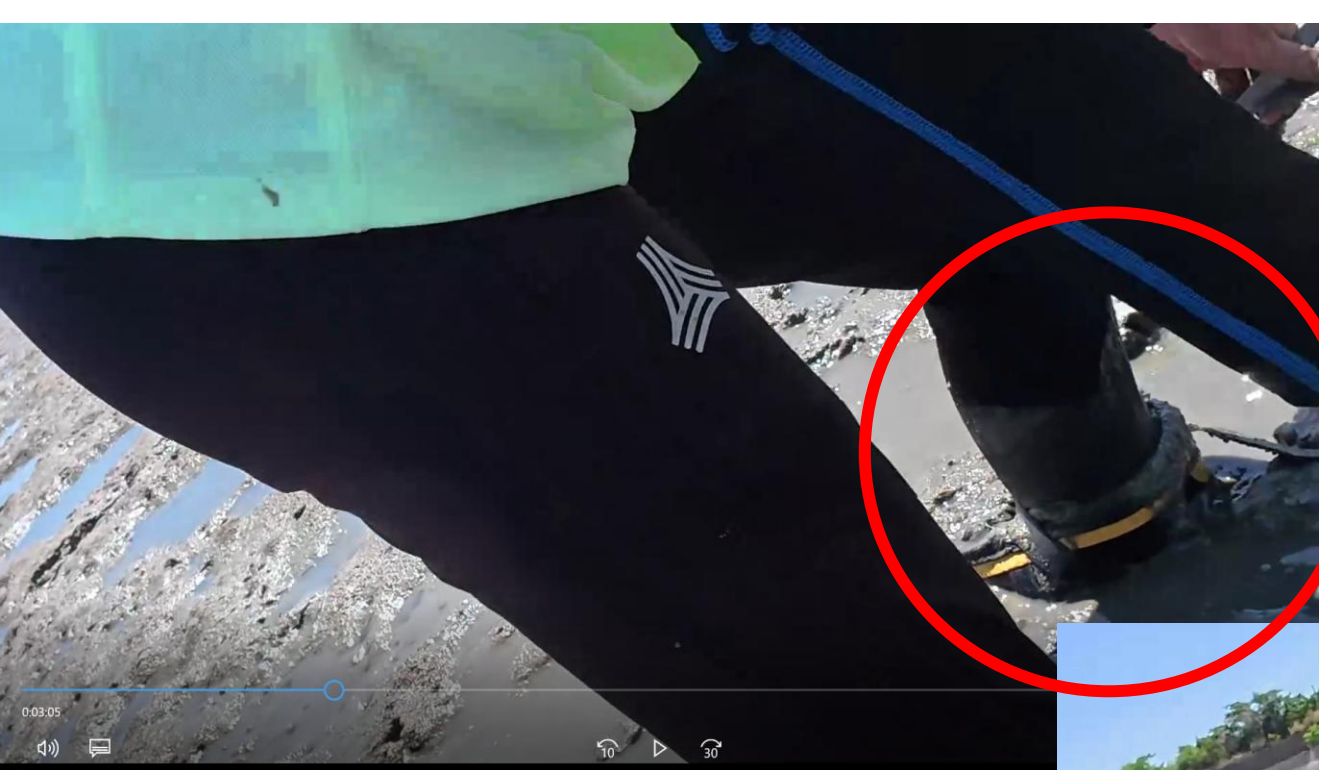


長浜 真ん中ラインは中央以降、
端のラインはスタートに近い方



【2025年度結果】・発見個体数は長浜が232匹、南潟が46匹であった。・推定個体密度は長浜が58匹/ha、南潟が48匹/haであり、おおよそ同じ値を示した。・長浜、南潟ともに調査時間を短縮したため、昨年度にくらべ、個体数が減少しているが、近年（2017年～）ではおおよそ横這いと言える。※例年、長浜と南潟の調査時間を2時間としているところ、2025年度は、熱中症防止の観点から1時間で行った。





かなり埋まる状況（どのラインでも）



調査方法の変更（2026.2.28）：調査継続、住民参加の手法の変更

- 1 開催時期 9月中旬から10月上旬（熱中症警戒アラートが出た場合は中止）
- 2 方法 南潟調査を住民参加型とする（20ライン）、長浜を10ラインに減、関係者のみ



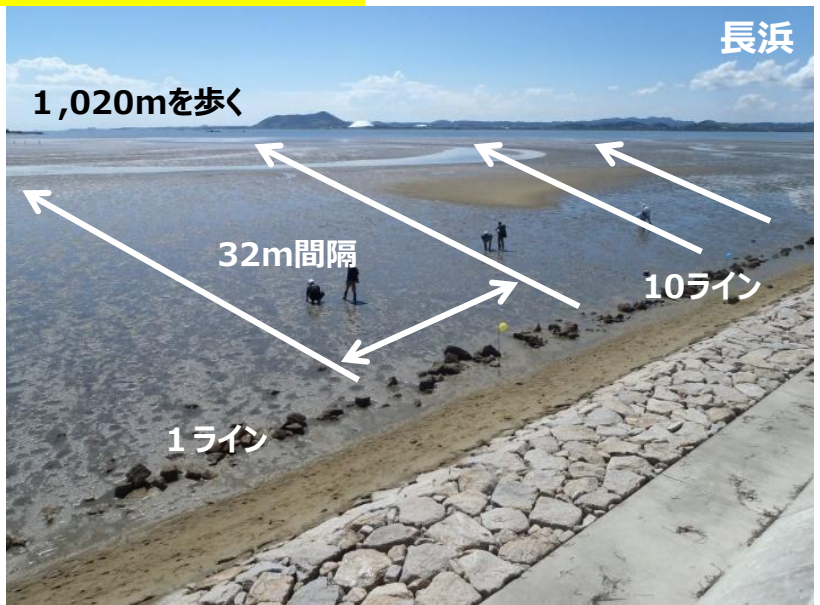
南潟調査

- ・ 16m間隔で20ライン、1ラインの調査幅は2m。
（横300m×縦1,020mの範囲）
- ・ 関係者と住民で別距離とする



長浜調査

- ・ 32m間隔で10ライン、1ラインの調査幅は2m。
（横320m×縦1,020mの範囲）
- ・ 関係者のみで平日に実施



調査方法の新調査案（南潟）：調査継続、住民参加の手法の変更

南潟調査

- 1 開催時期 9月26日(土) 予定(熱中症警戒アラートが出た場合は中止)
- 2 方法 住民参加型

- ・ 16m～32m間隔で10ライン、1ラインの調査幅は2m。
護岸・階段があるので緊急対応も可能
(横300m×縦1,020mの範囲) 計

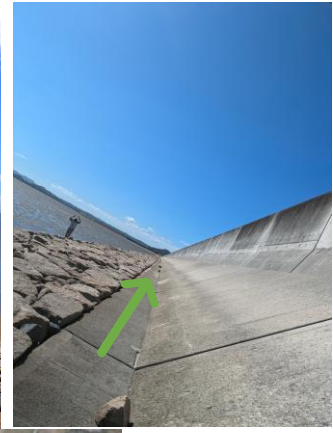
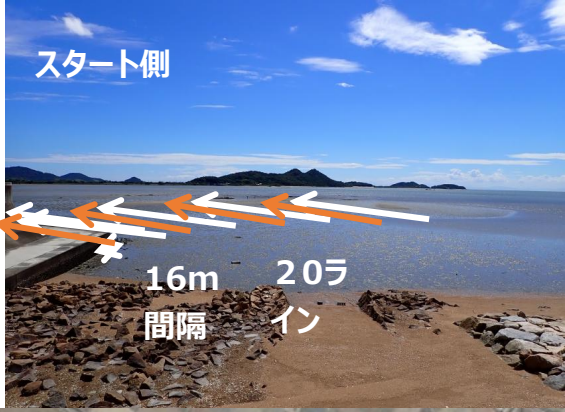
【実施例】

- 11:00 幸崎公園集合、事前説明
- 11:30 南潟縦列駐車→スタート地点へ
(作業説明は簡略)
- 12:00 調査開始
- 14:30 閉会

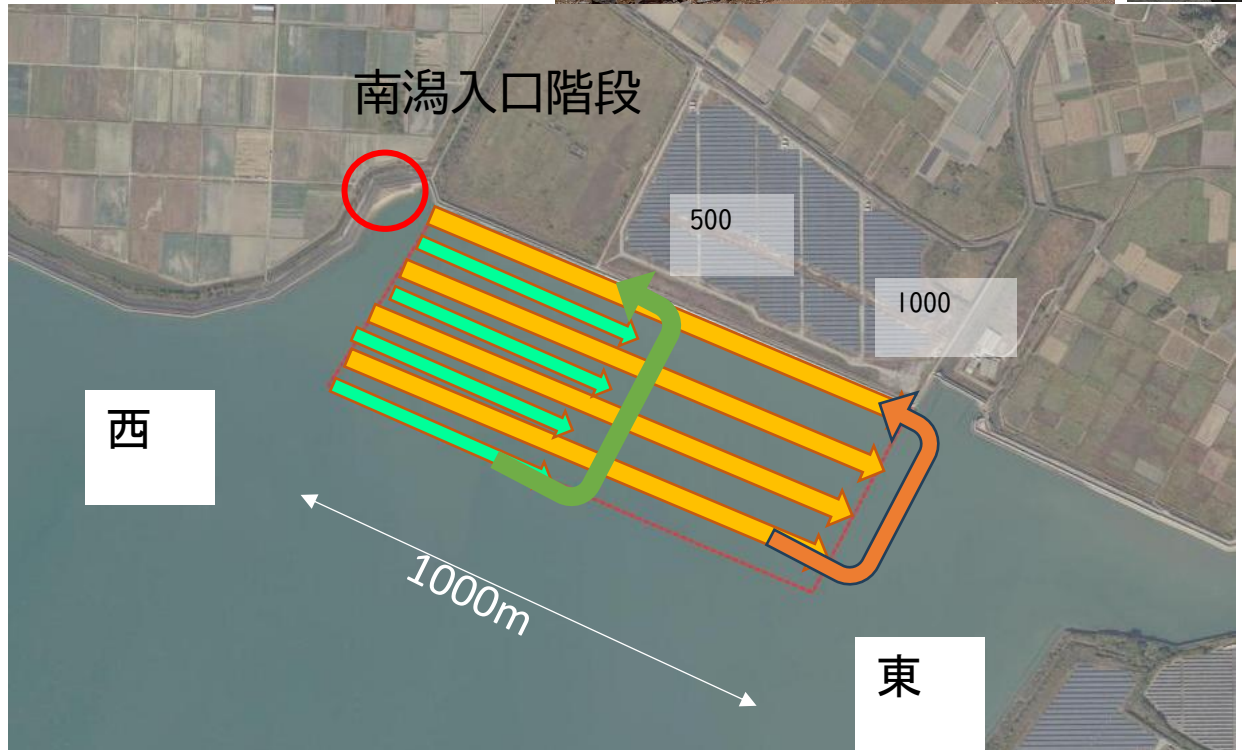
南潟入口階段



スタート側



参加者	ライン
ビギナー	10ライン西から500m
アドバンス	10ライン西から1000m
ビギナー・アドバンス一緒にグループでスタートし、ビギナーは500mで終了する。	



※このほか、ビギナーは生物観察会のみ実施するなどの案も

長浜新調査案：関係者のみ、ゴール地点を使わない調査

長浜：ゴール地点の土地所有者が当該土地利用の計画がある旨示唆

※ゴール地点を利用しない方法を考える

利用しないでも、ゴール地点を緊急用出口として利用する計画の場合は、所有者、管理者に事前連絡し了承を得る必要。所有者及び自治会も連絡し、トラブルを避ける。南潟、長浜：漁協への連絡必須

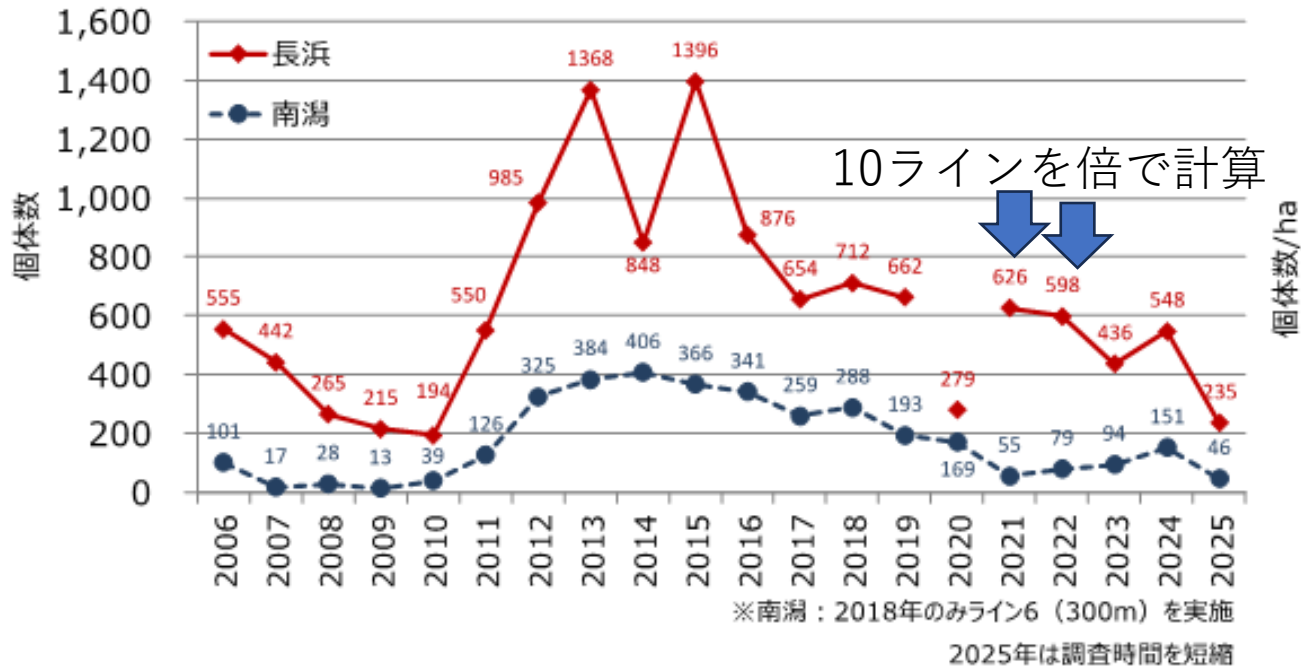
	ライン
ライン数	10ライン(往復、片道でも可)
調査範囲	1000m ×2グループ
留意事項	範囲は同じだが、 ラインを減らす。 参加者（関係者）の確保 平日に20名+スタッフ 経験者でも事故（熱中症など） が起こる可能性を含めた検討

データ継続性の観点から、範囲を
同じにする

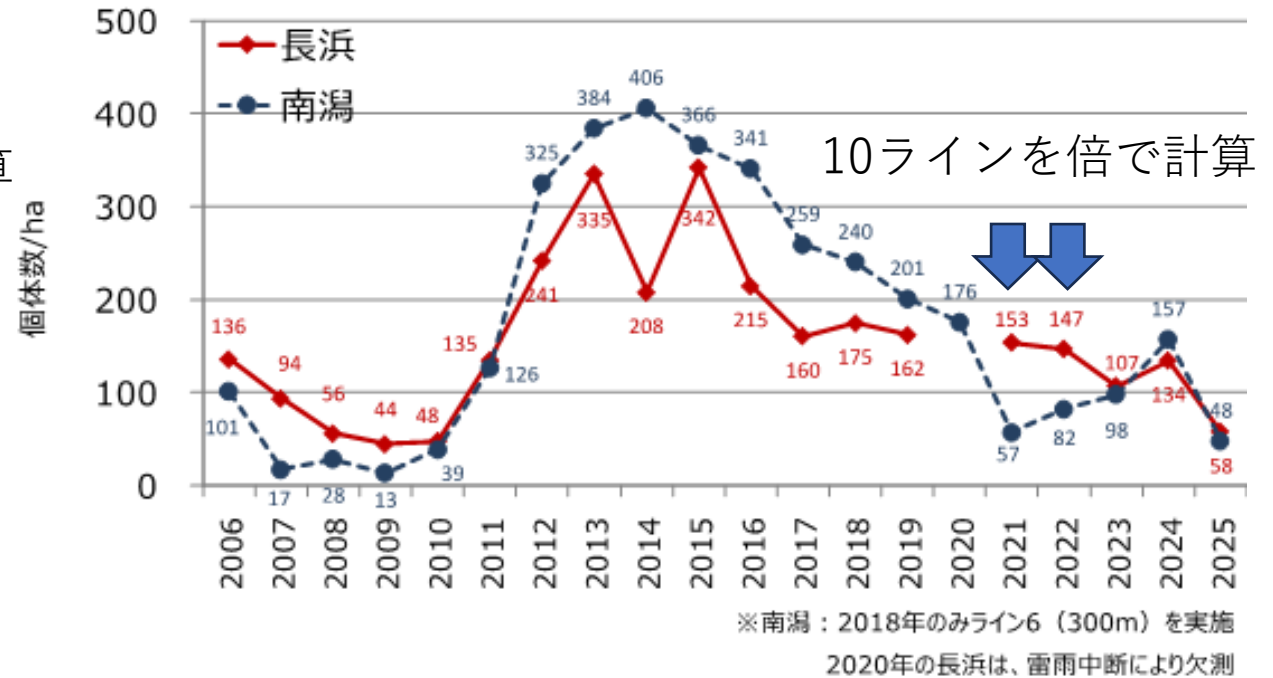


カブトガニ幼生生息調査の結果（2006年～2025年で20回）

長浜・南潟のカブトガニ調査結果 <発見個体数>



長浜・南潟のカブトガニ調査結果 <推定個体密度>



10ラインで実施した2021年（R3）、2022年（R4）においても、突出して外れ値となっていないことから、調査手法の変更は一定程度妥当であり、これまでの調査とある程度整合は図られると考えられる。

スケジュール

2月28日 内容検討案を協議会に提出

5月2日 協議会会議にて方針報告

6～7月 具体的な調査実施に向けて準備（模擬実施：カブトガニWG）

8月末

9月26日 南潟、9月中旬～10月 平日 長浜 調査実施

